

新規規制基準への適合性確認審査の状況をお知らせします

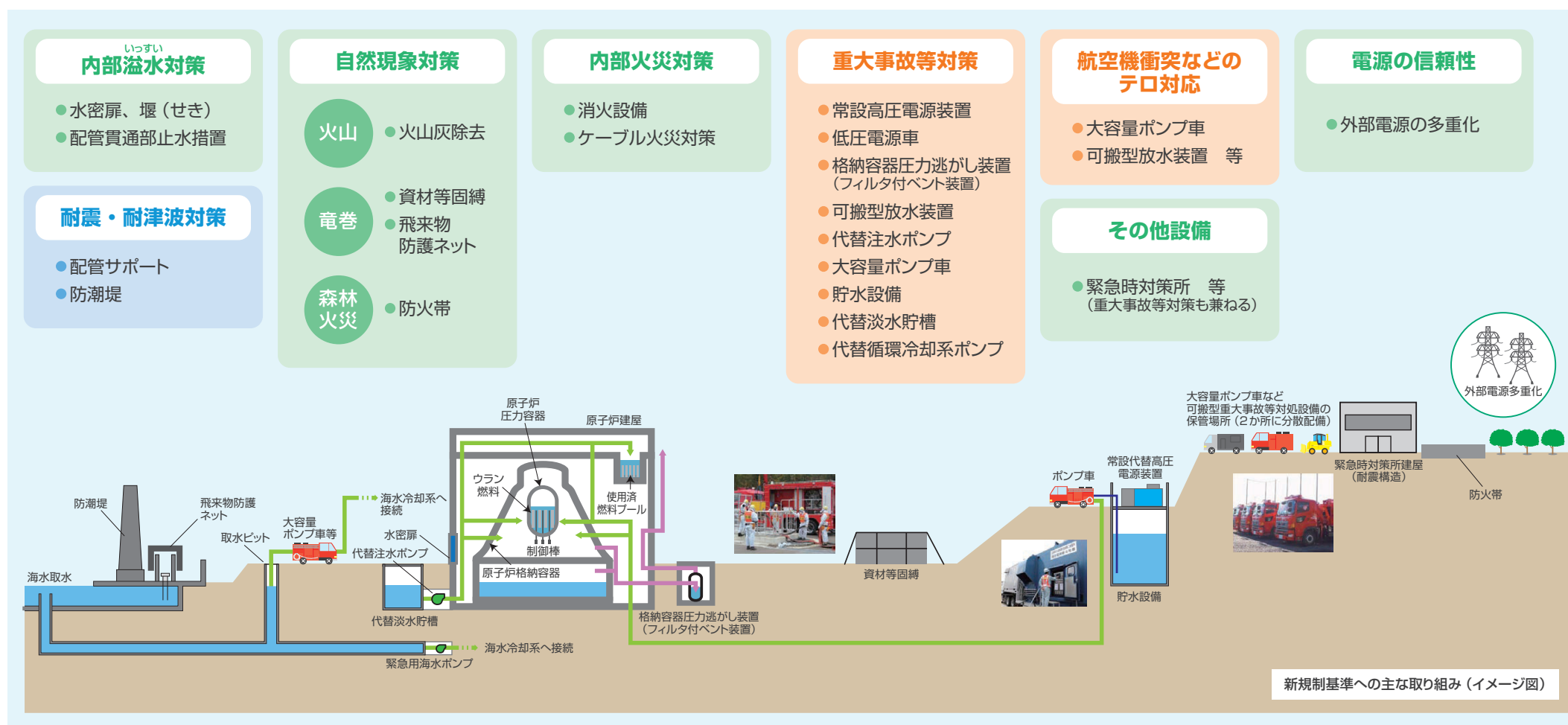
①原子炉設置変更許可の審査書案が了承されました

東海第二発電所は、2014年5月20日に新規規制基準への適合性確認審査を受けるため、原子力規制委員会に原子炉設置変更許可等の申請を行いました。申請以来、97回の審査会合や2回の現地調査、4回の補正書提出を経て全ての説明を終え、2018年7月4日、原子力規制委員会において審査書案が了承されました。審査書案は原子力規制委員会により、8月3日まで科学的・技術的意見（パブリックコメント）の募集が行われました。

原子炉設置変更許可とは、新規規制基準に基づく安全対策の基本設計に係る審査です。東海第二発電所の安全対策について、あらためてご紹介します。

安全対策の概要

福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえ、原子力発電所の従来の基準が見直され、2013年7月に新しい規制基準が施行されました。新規規制基準では、「基準とする地震」、「基準とする津波」、「電源の信頼性」、「竜巻や火山などの自然現象」に対する要求等が従来より一層厳しくなりました。また、新たな考え方として、万が一、これらの対策の想定を超える事態により重大事故が発生した場合やテロによる意図的な航空機衝突にも備え、多様な何重もの対策を講じることが求められています。



◎審査の状況の詳細については、当社ホームページでご覧いただけます。（ホームページは裏面右下をご覧ください）

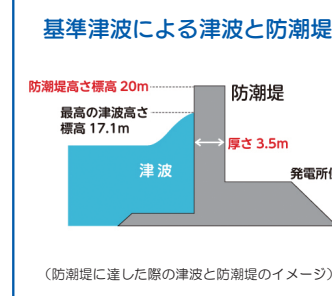
◆新規規制基準への適合性確認審査については、安全性向上に資するものであり、再稼働に直結するものではありません。今後とも、地域の皆さまに積極的かつきめ細かく丁寧に情報を提供してまいります。◆



- 東海第二発電所の審査の状況
- 東海テラパークからのお知らせ

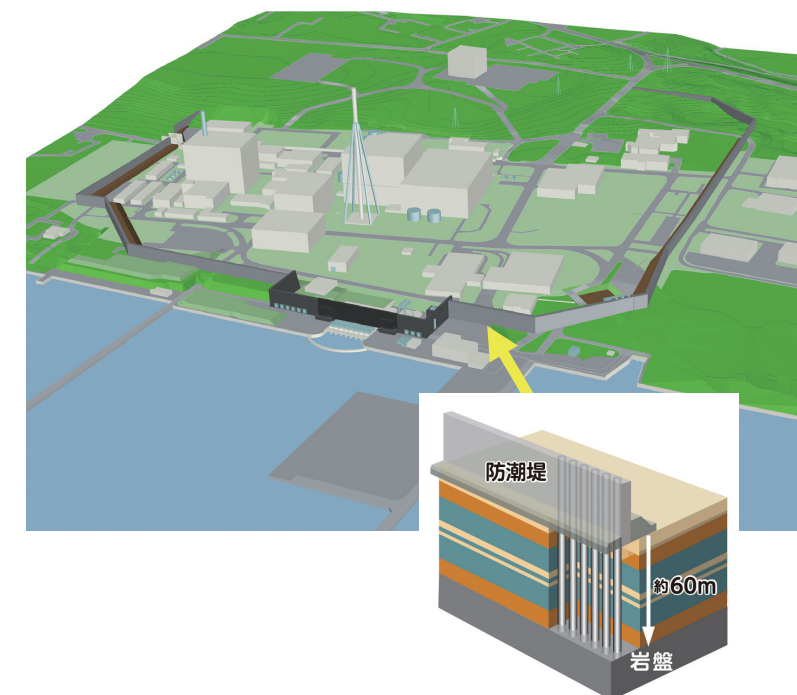
Q. 津波に対する備えについて、詳しく教えてください。

東北地方太平洋沖地震の知見などを踏まえて津波を評価した結果、防潮堤に到達した時の津波の最高水位（基準津波）を標高17.1mと設定し、それよりも余裕を持たせた標高最大20mの防潮堤を建設する計画です。



これに加え、万が一、防潮堤を越える津波が襲来した場合に備え、電源盤や蓄電池などの安全上重要な設備に海水が流入しないように、水密扉に取り替えしました。現在、発電所をとり囲む防潮堤の設置工事を行っています。

●防潮堤の概要（イメージ）



敷地北側の防潮堤の基礎構造（岩着支持杭）

Q. ケーブルの火災対策は大丈夫ですか？

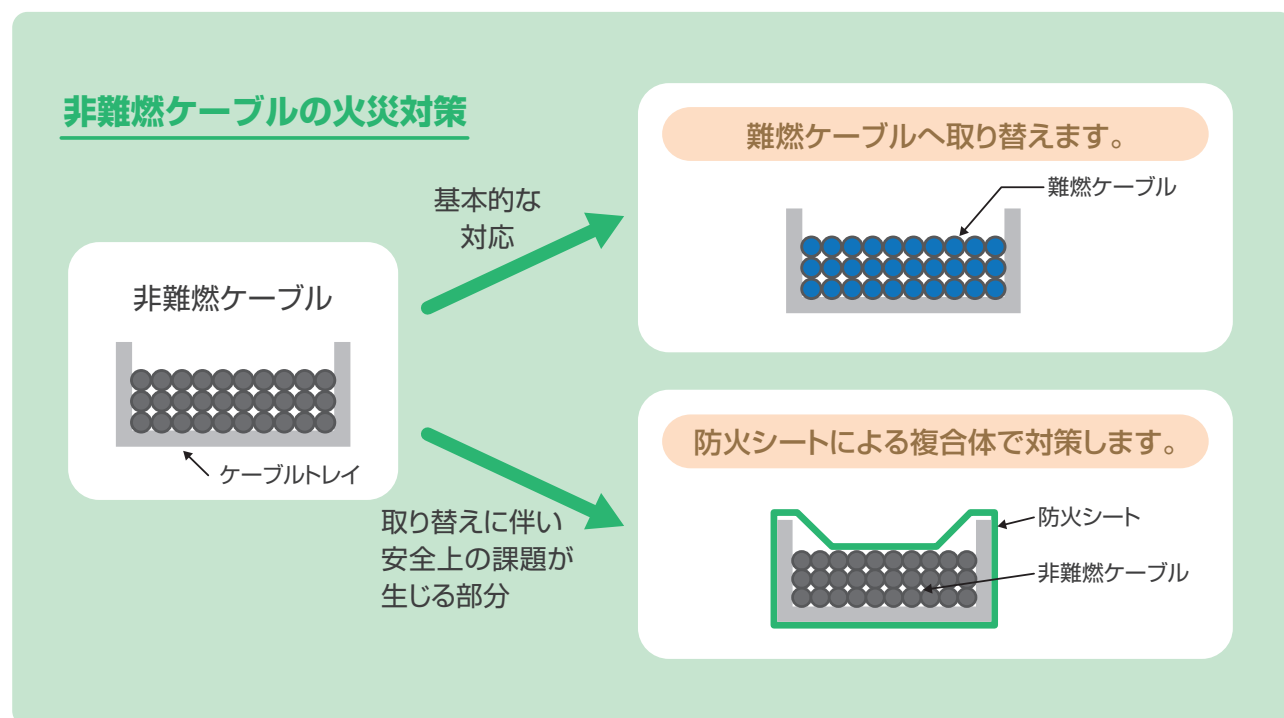
●新規規制基準で要求されている非難燃性ケーブル対策

安全機能を有する構築物、系統及び機器に使用するケーブルについては、「**難燃ケーブルであること**」、または「**難燃ケーブルと同等以上の性能を有すること**」が求められています。

●東海第二発電所の非難燃ケーブルの火災対策

安全機能を有する機器などに使用されているケーブルのうち、非難燃ケーブルについては、

- 難燃ケーブルへ取り替えます。
- 取り替えに伴い安全上の課題が生じる部分（取替工事により新たに開口を作ることで原子炉建屋の強度を損なう場合など）については、難燃ケーブルと同等以上の性能を有する防火シートによる複合体で対応します。



【防火シートによる複合体の特徴】

ケーブルトレイ外部からの火災を遮断できるほか、ケーブルトレイ内部で発生した火災がケーブルトレイ外部に延焼することを防ぎ、難燃ケーブルと同等以上の防火性能を確保します。

「東海第二発電所安全性検討ワーキングチーム」へのご説明

- 当社では、茨城県が設置する「茨城県原子力安全対策委員会 東海第二発電所安全性検討ワーキングチーム」（以下「WT」）において、東海第二発電所の安全対策について、説明を行っています。
- WTは、これまでに10回開催されており、地震・津波対策、電源設備、冷却設備、内部火災対策等について、ご審議をいただきました。その結果については、当社及び県ホームページに公表されています。
- 当社としては、今後も、WTへの説明等について真摯に対応していきます。

東海第二発電所の審査状況

①原子炉設置許可については表面をご覧ください。

②工事計画認可

- 工事計画認可とは、東海第二発電所安全対策の詳細設計に係る審査です。
- その一環として、2018年6月21日、ブローアウトパネル閉止装置の耐震性能試験が兵庫県で行われました。
- 今回の試験では、実機の装置を模擬した閉止装置（高さ約6m、幅約12m）に対して、想定される最大規模の揺れを加えて耐震性を確認しました。



耐震性能試験の様子

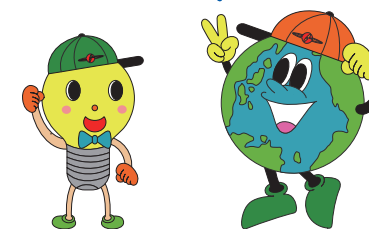
③運転期間延長認可

- 運転期間延長認可とは、今後20年間にわたる設備の安全性に係る審査です。
- その一環として、原子力規制委員会による東海第二発電所の現地調査が2018年5月11日に行われ、原子炉領域などの劣化状況を調査した特別点検の結果や原子炉建屋から採取したコンクリートサンプルを用いて、壁の劣化状況について説明しました。



コンクリートサンプルを用いた説明

ブローアウトパネルとは、原子炉建屋の外壁に設置されるパネル。建屋内で急激な圧力上昇が生じた際に、自動的に開いて圧力を逃がし、原子炉建屋や原子炉格納容器を守る装置です。



引き続き、原子力規制委員会による審査に真摯に対応してまいります。

東海テラパークからのお知らせ



是非お越しください。

- 出張テラパーク ・8/27(月)～9/2(日) 東海テラパークがイオン東海店にやってきます。パネル展示やキッズコーナーなどご家族で楽しめます。
- 切り絵展 ・10/2(火)～25(木) 切り絵文化の更なる普及に向けて活動している全国切り絵同好会ときわ会による作品展です。
- ハロウィンパーティー ・10/28(日) 思い思いの仮装をした子供達で賑わい、映画上映会、工作やクイズなどご家族で楽しめるイベントです。

所在地 那珂郡東海村白方1-1 開館時間 9時～16時30分
電話 029-287-1252 入館料 無料
休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）及び年末年始（12/29～1/3）

お問い合わせ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社 東海事業本部

地域共生部
茨城事務所

茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250
茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511

当社ホームページ 原電 検索
<http://www.japc.co.jp/>